

CyberLink **Power2Go**

ユーザーズガイド



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（「EULA」）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたいいたします。

End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

目次

はじめに	1
ようこそ	2
Power2Go プログラム	4
Power2Go タスク	5
最新機能	6
Power2Go バージョン	7
対応メディア	8
対応ファイル タイプ	8
対応ディスクタイプ	8
システム 要件	9
 Power2Go プログラム	11
Power2Go Express とサイドバー ガジェット	12
Power2Go サイドバー ガジェット	12
Power2Go Express	15
Power2Go モード	20
書き込みタスクの選択ウィンドウ	20
Power2Go ボタン	21
データディスクの書き込み	23
データディスクの書き込み	23
起動用データディスクの書き込み	25
セキュリティで保護されたデータディスクの書き込み	26
音楽ディスクの書き込み	30
オーディオ CD または MP3*/WMA 音楽ディスクの書き込み	30
ビデオ / 写真ディスクの書き込み	33
ビデオ / 写真ディスクの書き込み	33

DVD フォルダの書き込み	37
ディスク コピー	39
ディスク コピー	39
ディスク イメージの保存	40
ディスク イメージの書き込み	41
ミックスディスクの書き込み	43
CD Extra と Mixed Mode CD*	43
HighMAT CD*	45
ディスク ユーティリティ	48
ディスクの消去	48
オーディオの取り込み	49
オーディオ ファイルの変換	50
書き込みに関する注意事項と機能	52
マルチセッション ディスク	52
マルチ インスタンスの対応	52
設定	53
Power2Go プレファレンス	54
設定オプション	58
テクニカルサポート	71
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	72
Web サポート	73
索引	75

第1章：

はじめに

この章では、CyberLink Power2Go プログラムの紹介をします。プログラムのメインウィンドウとタスクの説明から始め、最新機能の概要も説明しています。この章の最後に、対応メディアの一覧と推奨するシステムの最小要件一覧が掲載されています。

注： 当ガイドの内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

この章は、次の各項で構成されています。

- ・ 2 ページの「ようこそ」
- ・ 4 ページの「Power2Go プログラム」
- ・ 8 ページの「対応メディア」
- ・ 9 ページの「システム 要件」

ようこそ

デジタルビデオツール CyberLink ファミリーにようこそ。CyberLink Power2Go は、音楽、データ、ビデオ、さらには起動用ディスクなどを CD、DVD または Blu-ray ディスクなどのさまざまなフォーマットに書き込み可能です。CyberLink Power2Go は、数々のハンディ ディスク ユーティリティや高速モードも搭載しているため、ディスクへの書き込みが便利で簡単です。

CyberLink Power2Go の主な機能には、以下があります。

- データ、音楽、ムービー*、およびそれらが混合したディスクの書き込み
- MP3*、WAV、WMA フォーマットのオーディオ ファイルの音声フォーマットと音質の変換
- 高度なファイル検索、ナビゲーション、トラッキング
- シーン ディスクの書き込み*
- 不要なコンテンツを含むディスクの消去
- ディスク全体のコピーと各写真ファイルによるスライドショーの作成
- Power2Go Express モードでは、デスクトップのアイコンをドラッグアンドドロップして、最小の手順での書き込みをサポート
- Windows Vista の Power2Go Express は、書き込みが素早く便利にできるサイドバーを搭載
- DVD フォルダをディスクに書き込む*
- 音楽用の CD にアルバムのタイトルや曲名などの文字情報を入れる CD TEXT 機能付き

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

CyberLink Power2Go は、さまざまなフォーマットで異なるタイプのディスクを作成および書き込みが可能です。始めるには、書き込み

たいディスクとメディアを用意するだけ。あとは CyberLink Power2Go におまかせです。

Power2Go プログラム

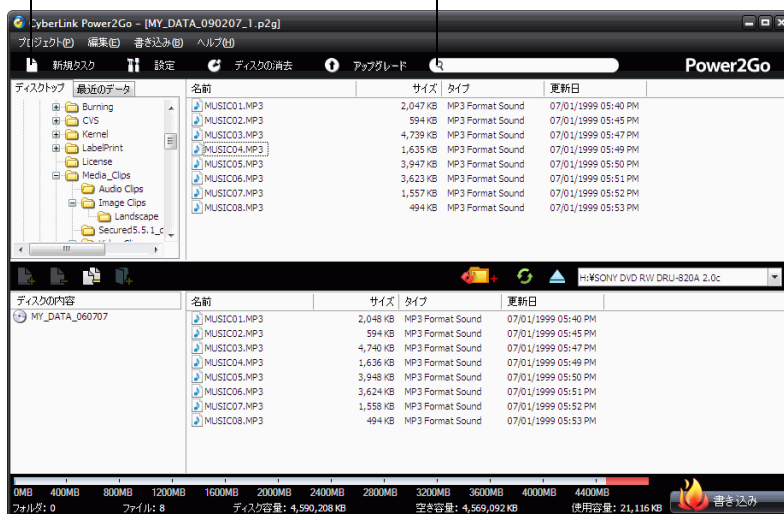
CyberLink Power2Go にはさまざまなウィンドウがあり、その表示内容は少しずつ異なります。ただし、ウィンドウ共通の機能を備えているため、書き込み作業がしやすくなっています。

クイック タスク ボタン

このボタンは、頻繁に使う作業にアクセスしやすくします。

検索

ディスクに追加したいファイルの検索を素早く実行します。



ディスク容量バー

ディスクの使用容量と最大容量をグラフで表示します。

即時書き込みボタン

書き込みの準備ができたならこの即時書き込みボタンをクリックしてディスクへの書き込みを開始します。

CyberLink Power2Go プログラムの実行には 2 つのモードがあります。

- **Power2Go Express** とサイドバー ガジェット
- **Power2Go モード**

Power2Go Express モードは、2 つの手順でディスクが書き込める、より簡単なモードです。Power2Go モードには、書き込みタスクウィンドウの選択により多くのオプションやディスクユーティリティを備えています。

Power2Go タスク

以下は、CyberLink Power2Go で行う主な作業の一覧です。



データ ディスク タスクは、データファイルを CD、DVD または Blu-ray ディスク * に書き込みます。データファイルには、画像やさまざまなドキュメント ファイルが書き込めます。



音楽ディスク タスクは、オーディオ ファイルを MP3*、WMA、WAV フォーマットで CD または DVD に書き込みます。ビデオ ファイルからオーディオを書き込むこともできます。



ビデオ / 写真ディスク * タスクは、ムービー ファイルを CD*/DVD に書き込みます。スライドショーをディスクに書き込んだり、DVD フォルダを作成したりできます。



ディスク コピー タスクは、任意のフォーマットでディスク コピーを作成します。ディスク イメージの作成と書き込みもできます。



ミックスディスク タスクは、混合したコンテンツを CD に書き込みます。異なるディスクフォーマット (CD Extra、Mixed Mode CD、HighMAT CD) でも異なるタイプのメディアを同じディスクに書き込めます。



ディスクユーティリティタスクには、ディスクの消去、CD からオーディオの取り込み、オーディオフォーマットの変換など数々の便利な機能があります。

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

最新機能

この章では、CyberLink Power2Go プログラムの最新機能について説明します。

さらに便利な新機能

- CyberLink メディア ライブラリ サービスを使った高度な検索、表示、トラッキング
- Windows Vista スライドバーと連結式の Power2Go スライドバー

データの書き込み

- 高度なデータファイルトラッキングと表示機能により、素早く最近書き込んだデータファイルを開き、作成することが可能です。
- Blu-ray ディスクの書き込み *
- 異なるデバイス上のディスク 3 枚まで同時書き込み可能

セキュリティで保護されたデータの書き込み *

- 部分 / 全体セキュリティ保護を付けた CD、DVD、Blu-ray ディスクへの書き込み
- パスワード保護とファイル名暗号化
- 内蔵型セキュリティ付きディスク ブラウザ

音楽の書き込み

- 高度なオーディオ ファイルトラッキングと表示機能により、アルバム、アーティスト、ジャンル、最近追加、年別などで音楽の書き込みが可能
- ビデオクリップの音声を使用して音楽用 CD を書き込む *

ビデオの書き込み *

- ビデオのトリミング
- VCD/DVD メニュー用サムネイルイメージ設定
- ナビゲーションが簡単にできるように章で分割した DVD ムービーのオーサリング

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

Power2Go バージョン

Power2Go で利用可能な機能は、お使いのバージョンによって異なります。

注 : バージョン情報は [バージョン情報] ウィンドウに記載されていません。

バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。CyberLink Power2Go のバージョンを確認するには、右上の CyberLink Power2Go のロゴをクリックするか、キーボードの Ctrl+B を押すか、[ヘルプ] > [バージョン情報] を選択します。

対応メディア

CyberLink Power2Go 6 がサポートするメディアの種類はコンピュータにインストールされているバージョンにより異なります。お持ちのバージョンを確かめるには、メインウィンドウの CyberLink Power2Go ロゴをクリックして「お読みください」ファイル (ReadMe) で特定のバージョン情報をお確かめください。

対応ファイルタイプ

データディスクの作成 (どのファイルタイプにも対応) を除き、音楽ディスク、ビデオディスク、写真ディスクなどの作成時にインポートできるファイルタイプを以下の一覧に示します。

- **音楽フォーマット** : .MP3*、.WMA、.WAV
- **ビデオフォーマット** AVI、.DAT (MPEG-1)、.MPE、.MPG、.MPEG、.MPEG-2、.WMV、.DVR-MS
- **イメージフォーマット** : .BMP、.GIF、.JPE、.JPEG、.JPG、.PSD

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

対応ディスクタイプ

CyberLink Power2Go 6 は以下のディスクタイプの書き込みに対応しています。

- **CD**: CD-R/RW
- **DVD**: DVD-R/RW、DVD-R/RW DL、DVD+R/RW、DVD+R/RW DL、DVD-RAM
- **Blu-ray ディスク** *: BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

システム 要件

以下に一覧表示されたシステム要件は、書き込みを行うために推奨される最小要件です。この推奨要件を満たしていても、書き込みタスクによっては容量を拡張する必要がある場合があります。

最小システム要件

オペレーティングシステム	Windows Vista、XP/2000 (Windows Vista、XP 推奨)
画面の解像度	1024 x 768 以上
メモリ	音楽およびデータの書き込み用 : 128 MB SDRAM ビデオ書き込み用 : 256 MB DDR RAM (512MB 推奨)
CPU	VCD (MPEG-1) 作成 : Intel Pentium II 450 MHz DVD (MPEG-2) 作成 : Intel Pentium III 800 MHz、または AMD Athlon 700 MHz (Intel Pentium 4 2.0 GHz、または AMD Athlon 2100+ またはそれ以上推奨)
HDD スペース	VCD ビデオ作成用 : 1 GB DVD ビデオ作成用 : 5~10 GB Blu-ray ディスク作成用 : 25 GB

注 : システム要件は変更されることがあります。最新のシステム要件については、CyberLink Power2Go のホームページ (http://www.cyberlink.com/multi/products/main_24_ENU.html) をご参照ください。

第2章：

Power2Go プログラム

CyberLink Power2Go には、データディスク、音楽ディスク、ビデオ / 写真ディスク、音楽ディスク、起動ディスクの書き込みなど、さまざまな書き込み機能があります。さらに、ディスク全体のコピーやディスク イメージの作成も可能です。

この章は、次の各項で構成されています。

- 12 ページの「Power2Go Express とサイドバー ガジェット」
- 20 ページの「Power2Go モード」
- 23 ページの「データディスクの書き込み」
- 30 ページの「音楽ディスクの書き込み」
- 33 ページの「ビデオ / 写真ディスクの書き込み」
- 39 ページの「ディスク コピー」
- 43 ページの「ミックスディスクの書き込み」
- 48 ページの「ディスク ユーティリティ」
- 52 ページの「書き込みに関する注意事項と機能」

Power2Go Express とサイドバー ガジェット

Power2Go Express* と Power2Go サイドバー ガジェット * でディスクへの書き込みが素早く簡単になります。Power2Go Express のアイコンはデスクトップ上、Power2Go サイドバー ガジェットは Windows Vista サイドバーに連結しています。

該当フォーマットのファイルを Power2Go Express のアイコンにドラッグする、または Power2Go サイドバーで CyberLink Power2Go の準備をしてディスクに書き込みます。

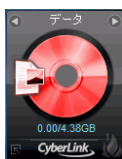
注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

Power2Go サイドバー ガジェット

Windows Vista ユーザーの場合、Power2Go サイドバー ガジェットを Windows Vista のサイドバーに追加できます。

Power2Go サイドバー ガジェットは以下のアイコンを使います。

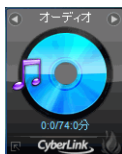
サイドバー ガジェット Power2Go の機能



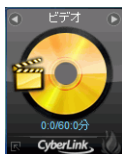
データファイルをこのアイコンにドラッグすると、データ ディスクを書き込みます。(14 ページの「Power2Go サイドバー ガジェットによるディスクの書き込み」を参照してください。)

サイドバー ガジェット

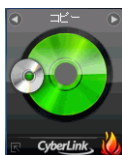
Power2Go の機能



音楽ファイルをこのアイコンにドラッグすると、オーディオ CD 音楽ディスクを書き込みます。(14 ページの「Power2Go サイドバー ガジェットによるディスクの書き込み」を参照してください。)



ビデオファイルをこのアイコンにドラッグすると、ムービーディスクを書き込みます。(14 ページの「Power2Go サイドバー ガジェットによるディスクの書き込み」を参照してください。)



 コピー ディスクのサイドバー ガジェットアイコンをクリックしてディスクをコピーします。(39 ページの「ディスクコピー」を参照してください。)

Power2Go サイドバー ガジェットの追加

Power2Go サイドバー ガジェットを Windows Vista サイドバーに追加するには、以下の操作を行います。

1. Windows Vista のサイドバーを右クリックしてから**ガジェットの追加 ...**を選択します。
2. サイドバー ガジェット ウィンドウで、**Power2Go ガジェット**アイコンを選択します。
3. アイコンを Windows Vista のサイドバーにドラッグ & ドロップします。

Power2Go サイドバー ガジェットによるディスクの書き込み

Power2Go サイドバー ガジェットでディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みたいファイルをコンピュータから探します。
2. ディスクの書き込みたいファイルをすべて Windows Vista のサイドバーの該当するアイコンにドラッグします。例：音楽ファイルはオーディオ ディスクのアイコン、ビデオ ファイルはビデオ ディスクのアイコンにドラッグします。
3.  Power2Go サイドバー ガジェットのアイコンをクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを開始します。



Power2Go サイドバー ガジェットによる書き込みの留意点

Power2Go サイドバー ガジェットで書き込みを行うときに知っておくと便利な情報を以下に示します。

- Power2Go サイドバー ガジェットの機能を切り替えるには、アイコン  データ  上部の矢印をクリックします。
- Power2Go サイドバー ガジェットの左下にある  アイコンをクリックすると、ウィンドウを開いたり、書き込むコンテンツの詳細リストを表示したりします。
- Power2Go サイドバー ガジェットで書き込んだ音楽ディスクはすべてオーディオ CD フォーマットです。

- オーディオ ディスク アイコンのビデオ ファイルをドラッグ & ドロップすると、ビデオファイルから音声を抽出して書き込みます。
- ビデオ ディスクのイメージ ファイルドラッグしてスライドショーを書き込む、ビデオ ファイルをドラッグしてビデオ ディスクを作成、またはイメージとビデオ ファイルの両方をドラッグしてビデオとスライドショーの両方を書き込むことができます。
- Power2Go サイドバー ガジェットで作成したスライドショーは、スライド表示時間がデフォルトの 3 秒に設定されます。

Power2Go Express

Power2Go Express は以下のアイコンを使います。

Power2Go
Express のア
イコン

Power2Go の機能



データファイルをアイコンにドラッグすると、データ ディスクを書き込みます。(16 ページの「Power2Go Express モードでディスクを書き込む」を参照してください。)



音楽ファイルをアイコンにドラッグすると、オーディオ CD 音楽ディスクを書き込みます。(16 ページの「Power2Go Express モードでディスクを書き込む」を参照してください。)



ビデオファイルをアイコンにドラッグすると、ムービー ディスクを書き込みます。(16 ページの「Power2Go Express モードでディスクを書き込む」を参照してください。)

Power2Go Express のア イコン

Power2Go の機能



Power2Go Express のアイコンをダブルクリックすると、ディスクをコピーします。(39 ページの「ディスク コピー」を参照して下さい。)

デスクトップのアイコンを右クリックすると、書き込みタスクを制御するコマンドメニューが開きます。メニューの項目をクリックして対応するタスクを実行します。

컨텐츠 추가/제거(A)...
지금 굿기(B)
디스크 지우기(E)...
모두 제거(C)
✓ H:\SONY DVD RW DRU-820A 2.0c
도움말(H)

Power2Go Express モードでディスクを書き込む

Power2Go Express モードでディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みたいファイルをコンピュータから探します。
2. ディスクの書き込みたいファイルをすべてデスクトップの該当するアイコンにドラッグします。例：音楽ファイルはオーディオ ディスクのアイコン、ビデオ ファイルはビデオ ディスクのアイコンにドラッグします。
3. Power2Go Express クラシックのアイコンの **REC** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを行います。(Stop をクリックすると書き込み処理を停止します。)



Power2Go Express による書き込みの留意点

Power2Go Express で書き込みを行うときに知っておくと便利な情報を以下に示します。

- Power2Go Express アイコンの列全体をクリックしてデスクトップの別の場所にドラッグすることができます。また、1つのアイコンを右クリックすると個別に移動することができます。
- Power2Go Express モードで書き込んだすべての音楽ディスクは、オーディオ CD フォーマットで書き込まれます。
- オーディオ ディスク アイコンのビデオ ファイルをドラッグ & ドロップすると、ビデオファイルから音声を抽出して書き込みます。
- ビデオ ディスクのイメージ ファイルドラッグしてスライドショーを書き込む、ビデオ ファイルをドラッグしてビデオディスクを作成、またはイメージとビデオ ファイルの両方をドラッグしてビデオとスライドショーの両方を書き込むことができます。
- Power2Go Express で作成したスライドショーは、スライド表示時間がデフォルトの 3 秒に設定されます。

Power2Go Express クラシックの設定

システムトレイの Power2Go Express アイコン  を右クリックするとコマンドメニューが開き、Power2Go Express アイコンの制御、

ディスクの消去、Power2Go プログラムの制御を行うことができます。

デイター 마이폰 옮기기 오디오 마이폰 표시 비디오 마이폰 옮기기 복사 마이폰 옮기기 모든 마이폰 표시
보통 마이폰 사용 스킨 바꾸기 항상 위 시스템을 시작할 때 프로그램 실행 디스크 지우기(E)...
정보(A) 도움말(H) 종료(X)

非表示 オプションの1つを使うと、デスクトップのアイコンを削除します。(オプションで**表示**に切り替えると、再びそのアイコンを表示することができます。)デスクトップのアイコンを大きなサイズと普通のサイズのどちらで表示するかを選択することもできます。

常に手前に表示する オプションをオンにすると、CyberLink Power2Go が常に実行中の他のプログラムより前に表示されます。

システム起動時にプログラムを起動する をオンにすると、コンピュータの電源を入れるたびに Power2Go Express を実行します。

ディスクの消去 ... をクリックすると、書き換え可能なディスクを消去することができます。

バージョン情報 をクリックすると、CyberLink Power2Go のバージョン情報を表示できます。ヘルプファイルを開くには**ヘルプ**を、Power2Go Express モードを終了するには**終了**をクリックします。

Power2Go Express のスキン変更

Power2Go Express では、デスクトップアイコンの表示方法を変更するさまざまなスキンを使用することができます。

別のスキンを使うには、次の操作のいずれかを行います。

- システムトレイのアイコンを右クリックしてコマンドメニューを開き、**スキンの変更** オプションをクリックしてから使用するスキンを選択します。
- 大きいアイコンを使う** または **標準のアイコンを使う** を選択して Power2Go Express のアイコンサイズを変更します。

- カスタムスキンを使用する場合は、**参照** オプションをクリックします。表示されたダイアログボックスから、使用するスキンファイルを開きます。Power2Go Express のアイコンが、選択したスキンに変わります。

Power2Go モード

Power2Go モードは、すべてのタスクや機能にアクセスできる CyberLink Power2Go プログラムのメインモードです。すべてのタスクは、CyberLink Power2Go の起動時にデフォルトで表示される「書き込みタスクの選択」ウィンドウからアクセスできます。

書き込みタスクの選択ウィンドウ

書き込みタスクの選択 ウィンドウは、CyberLink Power2Go のすべてのタスクにアクセスできるオプション行のあるプログラム ウィンドウを表示します。



注： **Power2Go 起動時にこのウィンドウを表示します** オプションをオフにすると、書き込みタスクの選択ウィンドウをデフォルトで表示しないようにします。

書き込みタスクの選択ウィンドウを閉じる（または無効にする）と、メニュー項目を使って、またはクイック タスク ボタンをクリックして CyberLink Power2Go の機能にアクセスできるようになります。

注： **新規タスク** ボタンをクリックすると、書き込みタスクの選択ウィンドウを開きます。

Power2Go ボタン

下表で、ほとんどの CyberLink Power2Go ウィンドウで表示されるボタンの概要を説明します。

ボタン	Power2Go の機能
	選択したファイルをディスク コンテンツ ウィンドウに追加します。
	選択したファイルをディスク コンテンツ ウィンドウから削除します。
	ディスク コンテンツ ウィンドウのコンテンツを消去します。
	作成するフォルダをディスクに作成します。作成したフォルダにファイルを追加してディスクのコンテンツを管理できます。
	音楽ディスクを作成するときは、上下ボタンを使用してディスクの音楽ファイルのプレイリストの順序を設定します。
	音楽ディスクを作成するときは、このボタンを使用して音楽ファイルをプレビューするときに音楽ファイルを再生、停止、音量の調節をします。

ボタン	Power2Go の機能
	ビデオ / 写真ディスクを作成するときは、このボタンを使用してディスクのプレイバックの順序を左右に移動します。
	ビデオ / 写真ディスクを作成するときは、プレビュー ボタンをクリックすると選択したビデオのプレビューを見ることができます。
	データ ディスクを作成するときは、このボタンをクリックしてセキュリティでファイルが保護されたディスクを作成します。詳しくは、26 ページの「セキュリティで保護されたデータディスクの書き込み」を参照ください。
	ディスクのコンテンツ ウィンドウの内容表示を更新します。
	指示したディスクドライブのディスクトレイを取り出す、または閉じます。

データディスクの書き込み

データディスクオプションで、データファイルを CD、DVD、Blu-ray ディスク * に書き込みが可能です。データファイルには、画像やさまざまなドキュメント ファイルが書き込めます。

また、起動用の CD、DVD、Blu-ray ディスク * を作成できます。この起動用 CD、DVD、または Blu-ray ディスクは、オペレーティング システムに不具合が発生した場合に、コンピュータを起動するために使用できます。

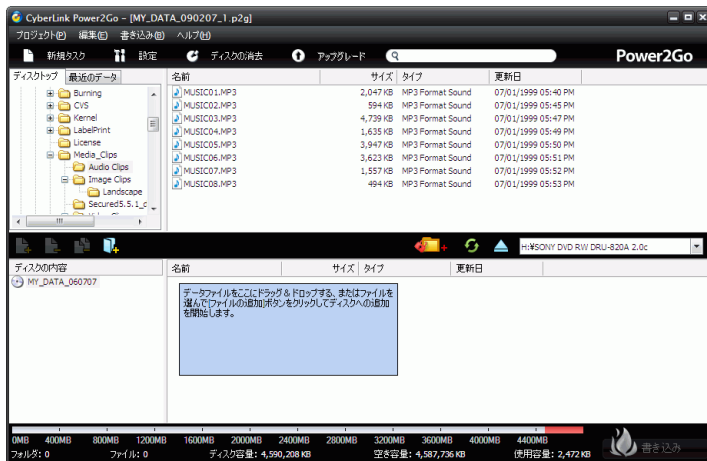
注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

データディスクの書き込み

ディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**データ ディスク**アイコンをクリックしてから、作成するディスクのタイプ (**CD**、**DVD**

または **Blu-ray ディスク**) を選択します。データディスク ウィンドウが開きます。



2. 書き込むファイルまたはフォルダを選択してから、書き込み先のディスクにドラッグするか、追加ボタンをクリックします。
3. 書き込むコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
4. 必要に応じて、**データ** または **書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
5. 書き込みディスクの用意ができたなら **書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
6. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。

- ・ **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

起動用データディスクの書き込み

起動用のディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**データディスクアイコン**をクリックしてから、**CD、DVD** または **Blu-ray ディスク** を選択します。
2. **設定** ボタンをクリックします。設定 / 情報ウィンドウが**データ** タブに開きます。
3. **起動用ディスクの作成オプション**を選択します。
4. その後以下のいずれかを行います。
 - ・ **起動用イメージファイルを使用する** オプションを選択し、**参照** をクリックしてから起動用ディスクのパターションを指定します。
 - ・ **起動用フロッピーディスクを使用する** オプションを選択します。

注 : **起動用フロッピーディスクを使用する** オプションを選択している場合は、書き込みをクリックした後にフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入するよう促されます。

5. **OK** ボタンをクリックするとデータディスクウィンドウに戻ります。必要に応じて、他のファイルまたはフォルダを起動用データディスクに追加します。ただし、この作業は必要ではありません。

注 : データディスクにファイルやフォルダを追加する作業の詳細は、23 ページの「データディスクの書き込み」を参照してください。

6. 書き込みたいコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。

7. 必要に応じて、**データ** または **書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
8. 書き込みディスクの用意ができたなら **書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
9. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

セキュリティで保護されたデータディスクの書き込み

セキュリティで保護されたデータディスク * のオプションで、パスワードで保護されたデータファイルを CD、DVD または Blu-ray ディスクに書き込めます。

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

セキュリティで保護されたデータディスクのファイル名を暗号化して書き込むこともできます。暗号化されたファイル名は、正しいパスワードを入力するまでユーザーには表示されません。

注： データ ディスクのすべてまたは一部を保護することができます。ブータブル データ ディスクは、保護データの書き込みはできません。

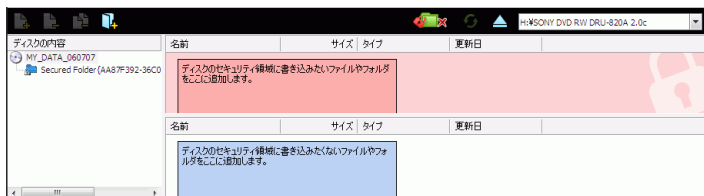
セキュリティで保護されたデータディスクの書き込み

データディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**データディスクアイコン**をクリックしてから、作成するディスクのタイプ (**CD**、**DVD** または **Blu-ray ディスク**) を選択します。データディスクウィンドウが開きます。
2.  ボタンをクリックしてからセキュリティで保護されたデータディスクのパスワードを入力します。**確認パスワード** フィールドにパスワードを再入力します。

注 : ディスクのファイル名を暗号化する場合は、**セキュリティ保護されているディスクのファイル名を非表示にする** 横のチェックボックスを選択します。

3. **OK** をクリックします。ディスクのコンテンツエリアが2分割されていますのでご注意ください。



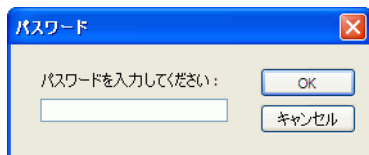
4. 検索ペインを使ってディスクに含めるファイルをナビゲートします。書き込みたいファイルやフォルダを選んでから、セキュリティで保護されたデータエリア (ピンク色で表示) または通常のセキュリティのないデータエリアのいずれかにドラッグします。
5. 書き込みたいコンテンツをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。

6. 必要に応じて、**データ** または **書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
7. 書き込みディスクの用意ができたなら **書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
8. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

セキュリティで保護されたデータディスクの使用

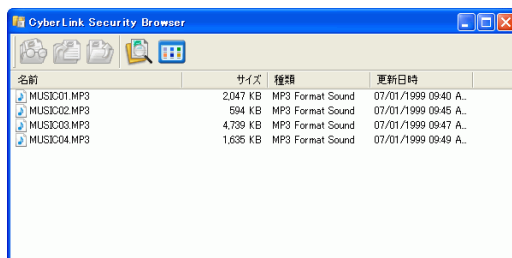
CyberLink Power2Go のセキュリティ保護データ技術で書き込まれたディスクは、CyberLink セキュリティ ブラウザが付いています。このブラウザでディスクのコンテンツが表示できます。

1. ディスクドライブにセキュリティで保護されたデータディスクを挿入すると、セキュリティ ブラウザを起動します。このとき、パスワードの入力を促します。



- 注： セキュリティで保護されたデータディスクを挿入してもセキュリティ ブラウザが自動的に起動されないときは、Windows Explorer でディスクを操作して SecurityBrowser.exe をダブルクリックすると手動でセキュリティ ブラウザを起動できます。

2. パスワードを入力してから OK をクリックします。セキュリティ ブラウザのウィンドウが表示されます。



注 : ディスクを作成したときに **セキュリティ保護されているディスクのファイル名を非表示にする** を選択している場合は、リストビューでセキュリティ保護されているホルダをダブルクリックするとファイルが表示されます。

3. 抽出したいファイルを選択してから  をクリックします。
4.  をクリックしてファイルを検索します。ファイルまたはフォルダの名前の全部または一部を入力します。
 - ・ **サイズ** をクリックすると特定サイズのファイルを検索します。
 - ・ **更新日時** をクリックすると、指定日に作成された、または変更されたファイルを検索します。
5.  をクリックするとファイルを抽出せずに表示します。
6. セキュリティで保護されたデータ ディスクが複数のサブフォルダを持つ場合、 をクリックすると 1 つ上のレベルのフォルダを表示します。
7. セキュリティ ブラウザの項目表示方法を変更するには、 をクリックします。

音楽ディスクの書き込み

音楽ディスク オプションは、音楽ファイルから MP3* または WMA CD/DVD を作成します。ビデオ ファイルからオーディオを抽出することもできます。従来のオーディオ CD を作成して一般の CD プレイヤで再生することもできます。

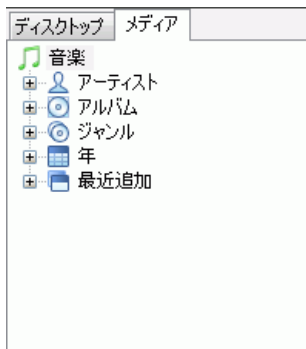
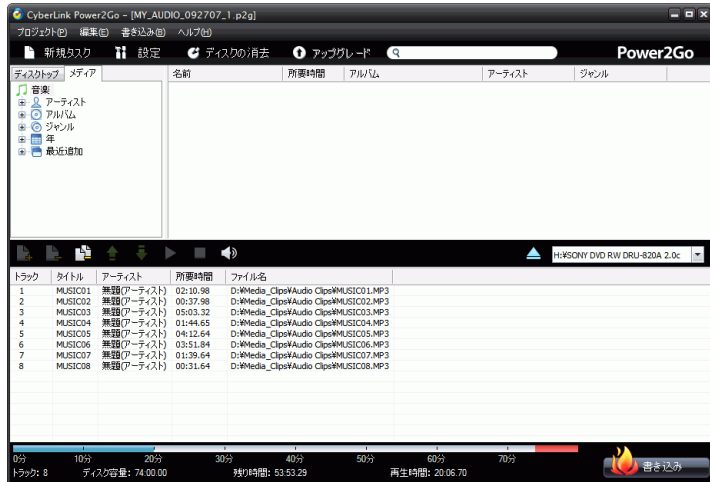
注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

オーディオ CD または MP3*/WMA 音楽ディスクの書き込み

オーディオ音楽 CD または MP3*/WMA 音楽ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**音楽ディスクアイコン**をクリックしてから次の操作をせんたくします。
 - オーディオ CD の作成
 - WMA CD の作成
 - MP3* CD の作成
 - WMA DVD の作成
 - MP3* DVD の作成

- 音楽ディスクのウインドウが表示されます。



- 書き込むオーディオ ファイルを選択してから、書き込み先のディスクにドラッグするか、追加ボタンをクリックします。

注：ビデオクリップからオーディオ CD に音声を抽出するには、単純にビデオクリップをディスクに追加します。CyberLink Power2Go が音声を抽出します。

3. 書き込みたい音声をすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
4. 必要に応じて音楽 (オーディオ CD, MP3 品質 *, WMA 品質) または**書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
5. 書き込みディスクの用意ができたなら**書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
6. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

ビデオ / 写真ディスクの書き込み

ビデオ / 写真ディスクのオプション * は、ビデオ ファイルを CD* または DVD に書き込みます。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

写真のスライドショーを作成してディスクに書き込んだり、DVD フォルダを DVD に書き込んだりできます *。

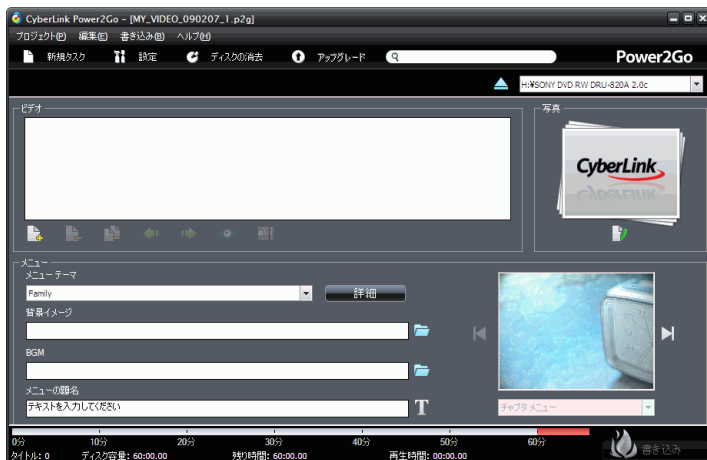
注 : ビデオと写真のスライドショーを同じディスクに書き込むことができます。

ビデオ / 写真ディスクの書き込み

ビデオ / 写真ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**ビデオ / 写真ディスク** アイコンをクリックします。**ビデオ CD (VCD)** または **DVD-**

Video オプションのいずれかを選択すると、ビデオ / 写真ディスクのウィンドウを開きます。

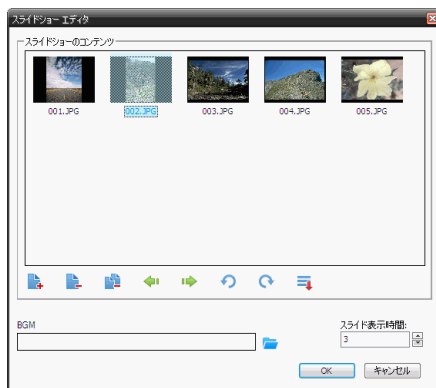


2.  をクリックしてビデオ ファイルをディスクに追加します。
3. ビデオをトリミングするには、*、 をクリックします。ビデオのトリム用ダイアログボックスが開きます。



注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- ・ 再生コントロールを使ってビデオクリップを再生します。
 - ・ **前のフレーム** ◀ および **次のフレーム** ▶ ボタンを使ってビデオのフレームを一度に動かします。
 - ・ トリミングの**書き込み** ポイントを設定するには、 をクリックします。
 - ・ トリミングの**読み取り** ポイントを設定するには、 をクリックします。
 - ・ 現在のビデオフレームをファイルの表示サムネールとして設定するには、 をクリックします。
 - ・ ビデオの音量を調節するには、 をクリックします。
 - ・ **OK** ボタンをクリックしてビデオのトリム ウィンドウを閉じます。
4. 写真のスライドショーを作成するには、 をクリックします。スライドショー エディタが表示されます。



5.  をクリックして画像をスライドショーに追加します。次の追加ボタンを使うと、ディスク作成のヘルプをします。
- ・ スライドショー / コンテンツ ウィンドウで写真を左に移動するには、 をクリックします。

- ・ プレイリスト / コンテンツ ウィンドウで写真を右に移動するには、 をクリックします。
 - ・ 写真を反時計回りに回転するには、 をクリックします。
 - ・ 写真を時計回りに回転するには、 をクリックします。
 - ・ スライドショーの写真を名前、日付、パスなどで並べ替えるには、 をクリックして、希望するオプションを選択します。
 - ・ BGM をスライドショーに追加するには、 をクリックして、使いたい音楽ファイルを指定します。
 - ・ スライドショーで各スライドを表示する時間を設定するには、**スライド表示時間**ボックスで時間を入力します。
 - ・ **OK** ボタンをクリックしてスライドショー エディタを閉じ、スライドショーをディスクに追加します。
6. ディスク メニューをカスタマイズするには、次の操作を行います。
- ・ ディスク メニュー テーマは、ドロップダウン メニューから選択します。 または  をクリックして、ディスク メニューをスクロールします。
 - ・ メニュー背景に独自の画像を追加したい場合は、 をクリックします。
 - ・ メニューのタイプを**チャプタ メニュー**(ビデオ / スライドショーのサムネイルをクリックできるフォーマットで作成)または**タイトル メニュー**(ビデオと1つのスライドショーのサムネイルをクリックできるフォーマットで作成)。
 - ・ BGM をディスク メニューに追加するには、 をクリックして、使いたいファイルを指定します。
 - ・ 必要なメニュー テキストを**メニューの題名**フィールドの追加します。
7. 書き込みたいメディアをすべて追加したら、 をクリックします。

8. 必要に応じて**ビデオ (DVD 用、VCD 用)** または**書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
9. 書き込みディスクの用意ができたなら**書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
10. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

DVD フォルダの書き込み

DVD フォルダとは、ディスクへの書き込みが決定されたメディアコンテンツを格納するために作成するディレクトリフォルダです。

DVD フォルダの書き込み * ユーティリティを使用すると、DVD フォルダを DVD ディスクに書き込むことができます。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

DVD フォルダを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**ビデオ / 写真ディスク** アイコンをクリックします。**DVD フォルダの書き込み** オプ

ションを選択すると、DVD フォルダの書き込みウィンドウが開きます。



2. **参照**をクリックしてから DVD フォルダを選択して書き込みます。
3. ディスクを挿入して、ドロップダウンリストからドライブを選択します。
4. **書き込み**をクリックして開始します。CyberLink Power2Go がディスクの書き込みを開始します。
5. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示**をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK**をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

ディスク コピー

ディスクコピー機能で、全く同じディスクを作成します。ただし、ディスクのコンテンツは同じディスク タイプのブランク ディスクにコピーする必要があります。(例えば、CD から DVD にコンテンツをコピーすることはできません。) ディスクコピー機能は、ディスクイメージの作成または書き込みが可能です。

注： コピープロテクトコンテンツ、または破損したファイルがディスクに含まれている場合は、内容がすべてコピーできない可能性があります。

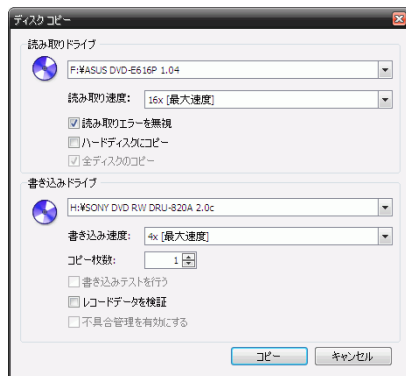
ディスク コピー

CyberLink Power2Go プログラム内から、または Power2Go Express モードでディスクをコピーする手順は、よく似ています。ディスクコピーのウィンドウを開く最初の手順が多少異なるだけです。

ディスクをコピーするには、次の操作を行います。

1. ディスクコピーウィンドウが開きます。
 - **Power2Go モード**：書き込みタスクの選択ウィンドウで、ディスクコピーアイコンをクリックしてから、ディスクコピーを選択します。
 - **Power2Go Express モード**：ディスクコピー Power2Go Express クラシックのアイコンをダブルクリックする、また

は  Windows Vista ガジェット サイドバーのディスク コピー アイコンをクリックします。



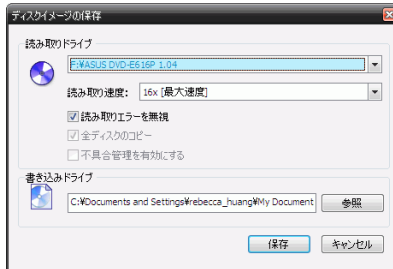
2. コピー元とコピー先のドライブを選択します。
3. **コピー**をクリックします。CyberLink Power2Go がデータをディスクにコピーします。
4. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示**をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトのTXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK**をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

ディスク イメージの保存

ディスクイメージをハードディスクに保存すると、後日ディスクに書き込むためにディスクをハードドライブにバックアップする場合に便利です。

ディスクイメージを保存するには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、ディスクコピーをクリックしてから、ディスクイメージの保存を選択します。



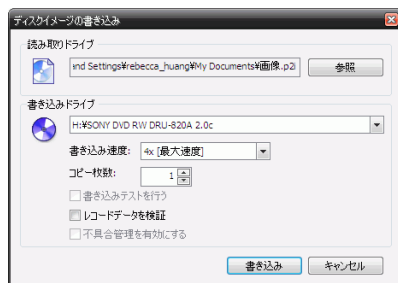
2. ディスクを挿入します。必要に応じて、ドロップダウンボックスの**読み取りドライブ**から保存元ドライブを選択します。
3. 保存先のフォルダとディスクイメージファイルの名前を**書き込みドライブ**入力ボックスに入力する、または**参照**をクリックし、フォルダを選択してディスクイメージファイル名を入力します。
4. **保存**をクリックしてディスクイメージを保存します。
5. 保存が完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - **ログの表示**をクリックしてログを表示します。デフォルトのTXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - **OK**をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

ディスク イメージの書き込み

ディスクイメージは、ディスクに書き込むコンテンツとファイル構成の複写です。CyberLink Power2Go を使うと、ディスクイメージをディスクに書き込めます。ディスクイメージをディスクに書き込むことにより、保存したディスクイメージを復帰できるほか、CyberLink Image Recorder で作成したディスクイメージも書き込めます。

ディスクイメージを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、ディスクコピーをクリックしてから、ディスクイメージの書き込みを選択します。



2. 参照をクリックして、ディスクイメージを保存します。
3. ディスクを挿入して、ドロップダウンリストからドライブを選択します。
4. 書き込みをクリックしてディスクへの書き込みを開始します。
5. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ログの表示をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトのTXTエディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - OKをクリックするとダイアログを閉じて終了します。

ミックスディスクの書き込み

ミックスディスク* オプションで、混合したコンテンツを CD に書き込むことができます。別のディスクフォーマット (CD Extra、Mixed Mode CD、HighMAT) を使用すると、さまざまなタイプのメディアを同じディスクに書き込むことができます。各フォーマットには多少の違いがあるため、以下にそれぞれのフォーマットを個別に説明しています。

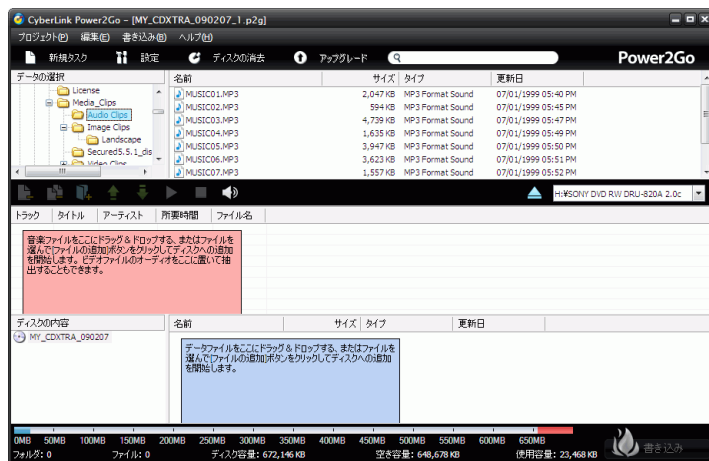
CD Extra と Mixed Mode CD*

CD Extra* 機能で、データ ファイルを含むオーディオ CD を作成できます。**Mixed Mode CD*** で、オーディオ ファイルを含むデータ CD をオーディオ CD フォーマットで作成できます。このようなディスクは、コンピュータの再生ソフトウェアを使用して音楽を再生したり、通常のデータ ディスクのようにデータ ファイルを表示することができます。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

このようなディスクを作成する手順は、かなり似ているためまとめて概要を説明します。Mixed Mode CD ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、ミックスディスクアイコンをクリックしてから、**CD Extra** または **Mixed Mode CD** を選択します。CD Extra/Mixed Mode CD ウィンドウが開きます。



2. CD Extra ディスクを作成する場合、

- 音楽ファイルまたはビデオファイルを中段のペインにドラッグします。(このペインにフォルダをドラッグすると、中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダは作成されません。)
- データファイルとフォルダを下段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダをドラッグすると、ディスクにフォルダが作成されます。)

注：音楽ファイルまたはビデオファイルを下段のペインにドラッグすると、データファイルとして読めるため、CD プレイヤーで再生することはできません。

3. Mixed Mode CD を作成する場合、

- データファイルとフォルダを中段のペインにドラッグ&ドロップします。(このペインにフォルダをドラッグすると、ディスクにフォルダが作成されます。)

- ・ 音楽ファイルまたはビデオファイルを下段のペインにドラッグします。(このペインにフォルダをドラッグすると、中のファイルは追加されますが、ディスクにフォルダは作成されません。)

注： 音楽ファイルまたはビデオファイルを中段のペインにドラッグすると、データファイルとして読み込まれるため、それらを後で再生できません。

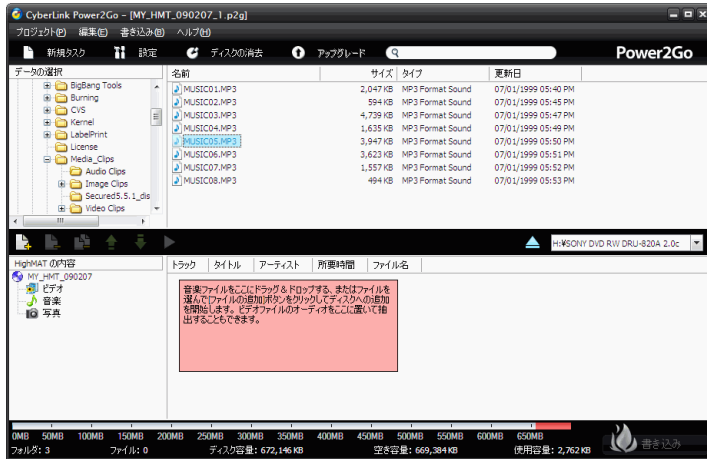
4. 書き込みたいメディアをすべて追加したら、 をクリックします。
5. 必要に応じて、**書き込みドライブ** および他のタブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)
6. 書き込みディスクの用意ができたなら**書き込み** をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
7. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - ・ **ログの表示** をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
 - ・ **OK** をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

HighMAT CD*

HighMAT CD オプションは、専用にフォーマットしたデータ ディスクに、コンピュータまたは HighMAT プレイヤで再生できるムービー、イメージ、音楽ファイルを書き込むことができます。このフォーマットでは、ファイルはエンコードされずにディスクにコピーされるため、オリジナルファイルの品質を保持できます。

HighMAT ディスクを書き込むには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、ミックスディスクアイコンをクリックしてから、**HighMAT CD*** を選択します。
HighMAT ウィンドウが開きます。



注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

2. 書き込むファイルまたはフォルダを強調表示して、書き込み先のディスクにドラッグするか、ファイル追加ボタンをクリックします。
 - ・ 音楽、写真、およびビデオアイコンをクリックして、各カテゴリの下に追加されたファイルを表示します。
3. 書き込みたいメディアをすべて追加したら、 **書き込み** をクリックします。
4. 必要に応じて、**HighMAT CD** および**書き込みドライブ** タブの設定を調節します。(詳しくは、58 ページの「設定オプション」を参照してください。)

5. 書き込みディスクの用意ができたら**書き込み**をクリックします。CyberLink Power2Go がディスクの書き込み処理を行います。
6. 書き込みが完了したら、表示されたダイアログボックスからオプションを選択します。
 - **ログの表示**をクリックして書き込みログを表示します。デフォルトの TXT エディタでログを開きます。ここでログの表示や保存ができます。
7. **OK**をクリックするとダイアログを閉じて終了します。

ディスクユーティリティ

簡単なディスクの書き込み機能に加え、CyberLink Power2Go は、書換可能ディスクの消去、音楽 CD からオーディオの取り込み、オーディオファイルのフォーマット変換などディスク管理に便利なユーティリティをいくつか提供しています。

ディスクの消去

書換可能ディスクを使用する場合は、以前に記録された内容を消去することができます。これにより、新しいディスクを購入しなくても同じディスクを繰り返し使用することができます。

ディスクを消去するには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go を開始します。
2. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**ディスクユーティリティ**をクリックしてから、**ディスクの消去**を選択します。



3. ディスクを挿入して書き込みドライブを選択します。
4. 消去方法を選択します。
 - **高速消去**オプションは、ディスクの管理領域だけを消去します。
 - **完全消去**オプションは、ディスクの内容をすべて消去します。
5. **消去**をクリックして開始します。CyberLink Power2Go が指定ディスクを消去します。

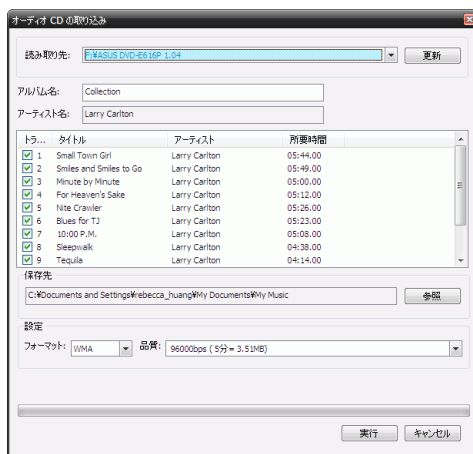
オーディオの取り込み

オーディオの取り込み 機能は、オーディオ CD からオーディオトラックを MP3*、WAV、または WMA フォーマットで、ハードディスクにコピーします。オーディオトラックを、CD-Extra CD や Mixed Mode CD にコピーすることもできます。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

音声ファイルをハードディスクに取り込むには、次の操作を行います。

1. CyberLink Power2Go を開始します。
2. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、ディスクユーティリティをクリックしてから、**オーディオの取り込み**を選択します。



3. ディスクを挿入してドライブを選択します。
 - ディスクを交換したり、別のドライブに変更する場合は、**更新**をクリックして最新情報が表示されていることを確認してください。
4. ハードディスクに取り込むオーディオトラックを選択します。

注： CyberLink Power2Go のバージョンによっては、この機能が使用できない、または使用制限がある場合があります。

5. オーディオトラックを取り込むフォルダを指定します。

注： 希望する場合は、異なるオーディオフォーマットや音質を選択することもできます。

6. **実行** をクリックしてファイルの取り込みを開始します。
CyberLink Power2Go は指定フォルダにファイルを取り込みます。

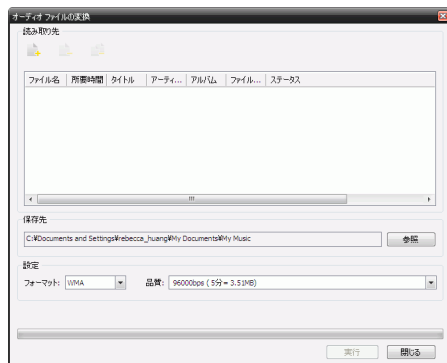
オーディオ ファイルの変換

オーディオ変換 * ユーティリティを使用して、オーディオ ファイルを異なるオーディオフォーマット (MP3*、WAV、WMA フォーマット間) に変換します。オーディオ ファイルを別の品質に変換したり、ビデオクリップからオーディオを録音したりできます。

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

オーディオ ファイルやビデオファイルを変換するには、次の操作を行います。

1. 書き込みタスクの選択ウィンドウで、**ディスクユーティリティ**をクリックしてから、**オーディオ変換**を選択します。オーディオファイルの変換ウィンドウが開きます。



2.  をクリックしてから、変換するファイルを選択します。**インポート**をクリックしてファイルを開きます。
3. **参照**をクリックしてから、変換先フォルダを選択します。
4. ファイルを変換するフォーマットを指定し、必要な場合には、ドロップダウンボックスから音質を選択します。
5. **実行**をクリックして開始します。CyberLink Power2Go はファイルを指定フォーマットに変換します。

書き込みに関する注意事項と機能

以下は、CyberLink Power2Go が提供するディスクの書き込み時にとっても便利となる書き込みに関する注意事項と機能説明です。

マルチセッション ディスク

CyberLink Power2Go でデータ ディスクを書き込む場合、空き容量の残っているディスクに追加コンテンツを書き込むことができるマルチセッション ディスクを作成することができます。CyberLink Power2Go は、CD, DVD または Blu-ray ディスク* を書き込むときにマルチセッション ディスクを作成し、追記禁止せずに終了します。

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

マルチセッション ディスクを使うと、ディスクが一杯になるまで、または追記を禁止してその後データの追加ができない状態になるまでマルチセッション ディスクにコンテンツを追加することができます。

マルチ インスタンスの対応

CyberLink Power2Go は、同時に異なる書き込むデバイスで異なるディスクを 3 枚まで書き込むことができる。

第3章：

設定

この章では CyberLink Power2Go プレファレンスの設定手順の概要と設定ウィンドウの使い方について説明しています。

この章は、次の各項で構成されています。

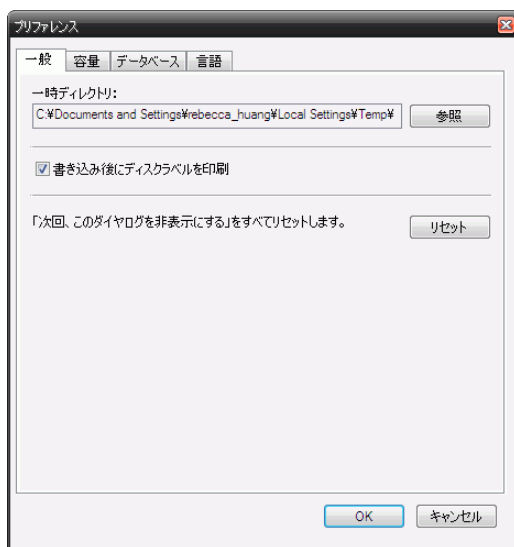
- 54 ページの「Power2Go プレファレンス」
- 58 ページの「設定オプション」

Power2Go プレファレンス

CyberLink Power2Go では、ユーザーの作業方法にプログラムを合わせるためのさまざまなタイプのプレファレンスを提供しています。プログラムのプレファレンスを表示するには、**プロジェクト >** をクリックしてから、**プレファレンス** をクリックします。

一般

一般 タブをクリックして一般プレファレンスを表示します。



- ・ **一時ディレクトリ**：書き込み中に CyberLink Power2Go が一時ファイルを保存する作業ディレクトリを設定できます。
- ・ **「次回、このダイアログを非表示にする」をすべてリセットします**：注意ダイアログのプレファレンス設定をリセットできます。リセット をクリックして注意ダイアログをリセットします。

容量

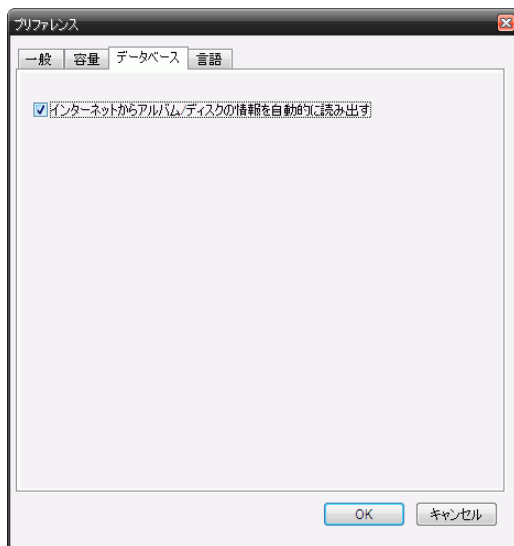
ディスク容量タブをクリックして容量プレファレンスを表示します。



- **容量**タブでは、使用する CD が 700MB 以上の容量を持つ場合にカスタムディスクサイズを設定できます。
- **自動検出**を選択して CyberLink Power2Go が自動的にディスク容量を検出できるようにします。
- **CD-R/RW 容量のカスタマイズ**をクリックしてから、**分**入力ボックスにディスク容量の新しいサイズを手入力します。

データベース

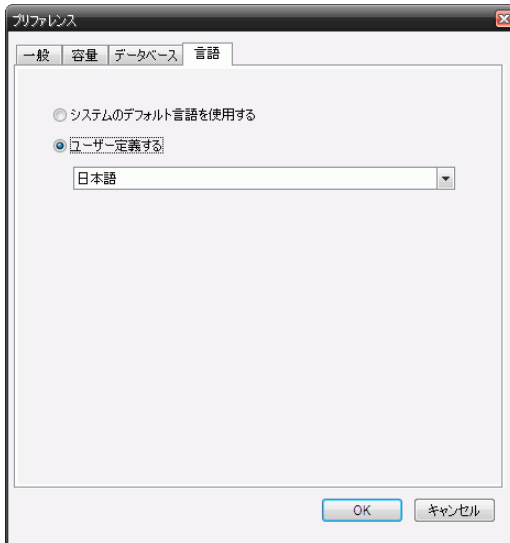
データベース タブをクリックしてインターネット接続プレファレンスを表示します。



- ・ **インターネットからアルバム / ディスクの情報を自動的に読み出す**：このオプションを選択すると、オーディオ ファイルを読み取るときに CyberLink Power2Go が自動的に曲やアルバムの情報を読み込むようにします。

言語

言語タブをクリックして言語プレファレンスを表示します。



- ・ **システムのデフォルト言語を使用する** : CyberLink Power2Go のこのオプションを選択すると、言語表示はお使いのオペレーティングシステムのデフォルト言語と同じ表示になります。
- ・ **ユーザー定義する** このオプションを選択してから、CyberLink Power2Go で使用する言語をアップダウンリストから選択します。

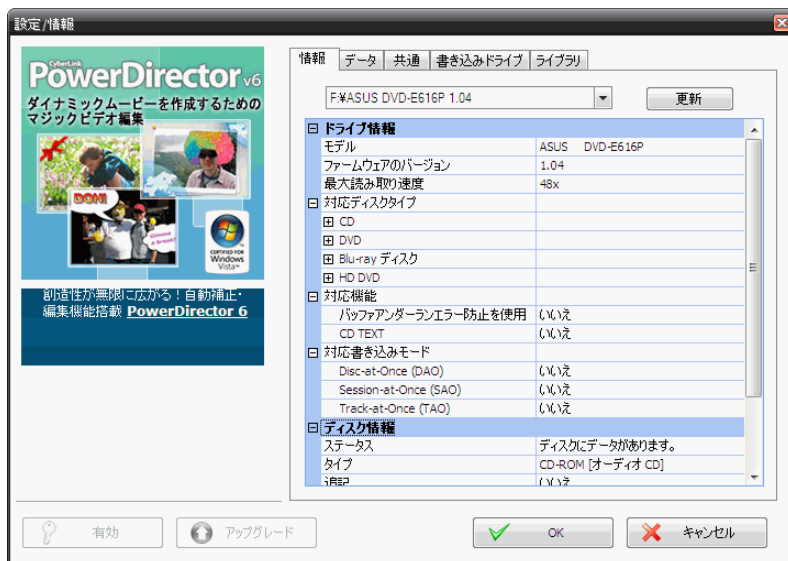
設定オプション

設定 / 情報ウィンドウを開くには、メインプログラム ウィンドウで **設定** をクリックします。設定 / 情報ウィンドウが開き、現在の書き込みタスクに関連する設定情報を含んだタブが表示されます。

注：（書き込みタスクを選択していない場合は、情報タブのみが表示されます。）表示されるタブと利用可能なオプションは、選択した書き込みタスクにより異なります。

情報タブ

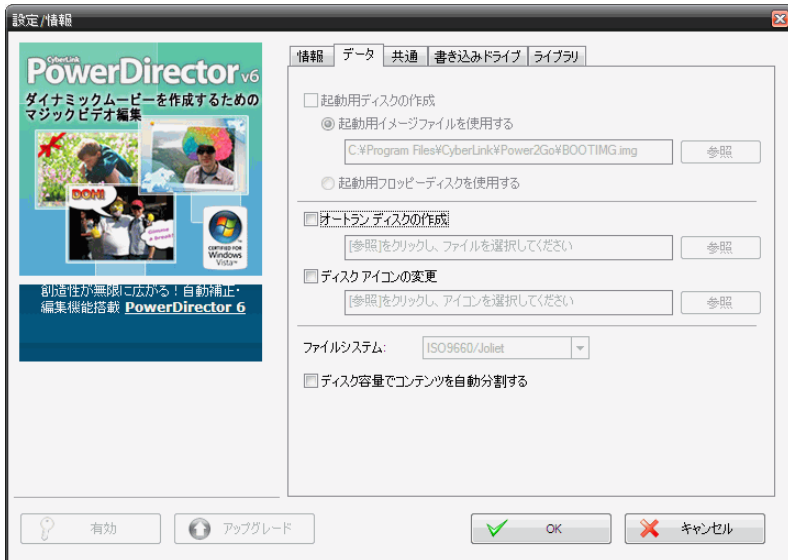
情報 タブには、選択したディスクドライブ、ドライブ内のディスク、現在のプロジェクトについての情報が表示されます。項目の横の [+] ボックスをクリックすると、詳細情報が表示されます。



- ・ ディスクを交換したり、別のドライブに変更する場合は、**更新**をクリックして最新情報が表示されていることを確認してください。

データタブ

データタブには、データ CD、CD Extra、Mixed Mode CD を作成するオプションが表示されます。

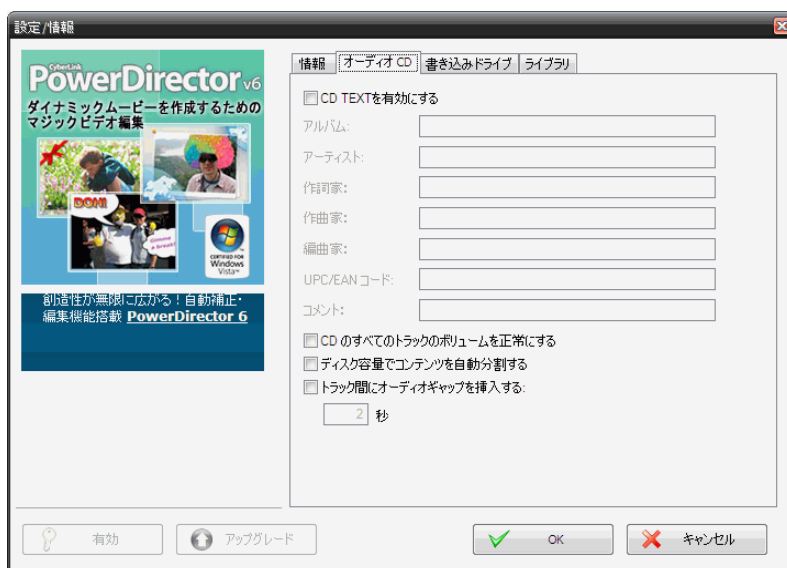


- ・ **起動用ディスクの作成**：起動用の CD、DVD または Blu-ray ディスクを作成できます。このディスクを使うと、オペレーティングシステムが故障したときに、ディスクドライブからコンピュータを起動することができます。詳しくは、25 ページの「起動用データディスクの書き込み」を参照ください。
- ・ **オートラン ディスクの作成**：このオプションを有効にすると、ディスクを挿入したときに、選択した自動実行ファイルを実行します。**参照**をクリックして、使用する自動実行ファイルを指定します。このオプションを無効にすると、ディスク挿入時にコンピュータは何も動作を行いません。

- ・ **ディスクアイコンの変更**：このディスクが Windows Explorer で表示されるときに現れるアイコンを変更できます。**参照** をクリックして、使用するアイコン (.ICO) ファイルを指定します。
- ・ **ファイルシステム**：書き込むディスクのファイルシステム (ISO9660/Joliet、UDF 1.5、UDF 2.0、または UDF 2.5) を設定します。
- ・ **ディスク容量でコンテンツを自動分割する**：書き込み先ディスクのサイズに応じて、書き込まれるファイルを自動的にボリューム (部分) に分割します。

オーディオ CD タブ

オーディオ CD タブは、オーディオ CD 音楽ディスク、CD Extra、Mixed Mode CD を作成するオプションを表示します。



- **CD TEXT を有効にする**：手作業で（アルバムやアーティスト名などの）情報をオーディオトラックに追加できます。希望する情報を入力ボックスに入力します。
- **CD のすべてのトラックのボリュームを正常にする**：CD のすべてのオーディオトラックの音量を同じレベルに調整します。
- **ディスク容量でコンテンツを自動分割する**：書き込み先ディスクのサイズに応じて、書き込まれるファイルを自動的にボリューム（部分）に分割します。
- **トラック間にオーディオギャップを挿入する**：トラック間に無音部分を追加できます。希望の所要時間を秒ボックスに入力します。

MP3* 品質タブ

MP3 品質 * タブは、MP3* 音楽ディスクを作成するためのオプションを表示します。



- **品質**：ドロップダウンボックスから品質を選択します。

- ・ **プレイリストの自動作成**：ディスクに追加した曲に基づいてプレイリストを作成します。

注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

WMA 品質タブ

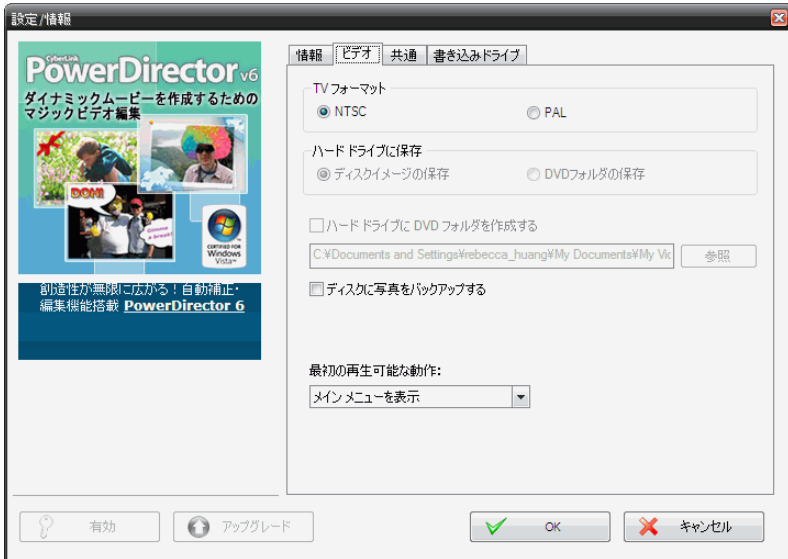
WMA 品質タブは、WMA 音楽ディスクを作成するためのオプションを表示します。



- ・ **品質**：ドロップダウンボックスから品質を選択します。
- ・ **プレイリストの自動作成**：ディスクに追加した曲に基づいてプレイリストを作成します。

ビデオタブ (VCD 用)

ビデオ * タブは、VCD またはビデオ DVD を作成するためのオプションを表示します。以下に説明するオプションは VCD にのみ該当します。



- **TV フォーマット** : ディスクに書き込むビデオの TV フォーマット (NTSC または PAL) を設定します。
- **ディスクに写真をバックアップする** : 最終的に作成するムービーの解像度より高い解像度のオリジナル写真のバックアップコピーを作成します。
- **最初の再生可能な動作** : このディスクを VCD プレイヤに挿入したときに VCD プレイヤが行う最初のアクションを設定します。

注 : * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

ビデオタブ (DVD 用)

ビデオ * タブは、VCD またはビデオ DVD を作成するためのオプションを表示します。以下に説明するオプションは DVD にのみ該当します。



注： * Power2Go のオプション機能です。バージョンの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

- **TV フォーマット**：ディスクに書き込むビデオの TV フォーマット (NTSC または PAL) を設定します。
- **ハードドライブに保存**：オプションをオンにすると、ディスクイメージと DVD フォルダの両方、または DVD フォルダのみをハードディスクに書き込みます。

注： **ハードドライブに保存**オプションは、**CyberLink イメージレコーダー**がビデオ / 写真ディスクの書き込みウィンドウで、書き込み先として選択された場合のみ、使用できます。

- **ハードドライブに DVD フォルダを作成するオプションをオン**にした場合は、**参照** をクリックして、使用するフォルダを指定します。
- **ディスクに写真をバックアップする** : 最終的に作成するムービーの解像度より高い解像度のオリジナル写真のバックアップコピーを作成します。
- **DVD 自動調整を有効にする** : このオプションをオンにすると、ビデオが最良の品質で 1 枚のディスクに収められます。
- **最初の再生可能な動作** : このディスクを DVD プレイヤに挿入したときに DVD プレイヤが行う最初のアクションを設定します。
- **オーディオフォーマット** : **LPCM** (非圧縮のオーディオフォーマット) または **ドルビー デジタル** (Dolby Digital Consumer Encoder フォーマット) を選択します。

注 : CyberLink Power2Go のバージョンによっては、この機能が使用できない、または使用制限がある場合があります。

HighMAT CD タブ

HighMAT CD タブは、HighMAT ディスクを作成するためのオプションを表示します。



- **スライド表示時間**：ドロップダウンボックスから表示時間を選択します。スライドショーを手動で制御するには、**手動**を選択します。
- **トランジション**：スライドショーに使用する場面転換（トランジション）の種類（**なし**または**ワイプ（右）**）を選択します。
- **BGM**：ディスクのメニューページに BGM を設定するには、**参照**をクリックして、使用する音楽ファイルを指定します。
- **メニューの背景イメージ**：ディスクのメニューページに背景イメージを設定するには、**参照**をクリックして、使用するイメージファイルを指定します。

注： 良質な画像表示には、解像度が 640 x 480（または可能な限り近いもの）の画像を使用することをお勧めします。

共通タブ

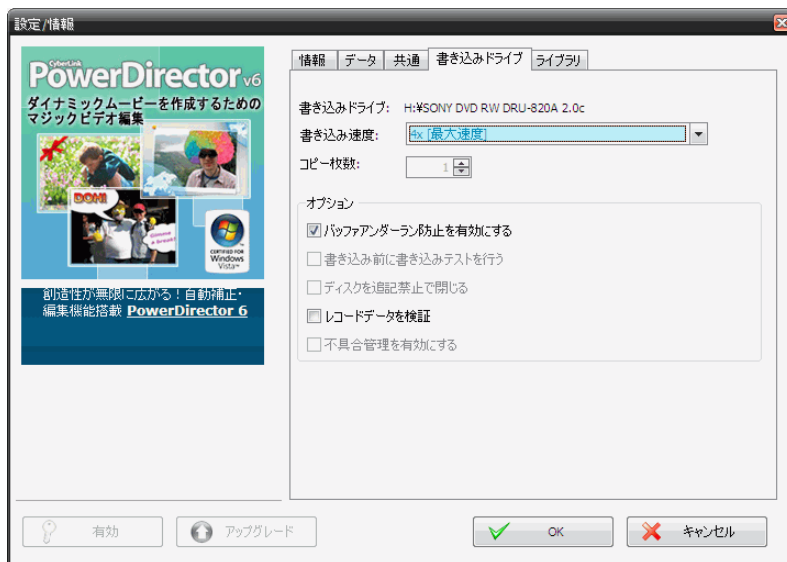
共通 タブは、異なる種類のディスクを書き込む場合に使用できるオプションを表示します。



- **ボリュームラベル**：ディスクの名前を入力します。ディスク名は、ディスクを再生するときにディスクプレイヤーで表示されます。
- **ファイルの更新日時を使う**：このオプションはディスクに書き込まれるファイルの元の日時を使用します。
- **現在の更新日時を使う**：このオプションはコンピュータの現在の日時を使用します。
- **任意の更新日時を入力する**：このオプションは指定フィールドに入力した日時を使用します。

書き込みドライブタブ

書き込みドライブ タブは、ディスク書き込みドライブとその機能を制御するオプションの情報を表示します。



- **書き込みドライブ**：選択したディスク書き込みドライブを表示します。
- **書き込み速度**：ドロップダウンリストから書き込み速度を選択します。
- **コピー枚数**：書き込むディスクの枚数を入力します。
- **バッファアンダーラン防止を有効にする**：このオプションを有効にすると、中断されことなくデータをディスクに書き込むことができます。(データが中断されるとディスクが使用できなくなります。)
- **書き込み前に書き込みテストを行う**：書き込みドライブが選択した速度で確実に書き込みできるか確かめるには、書き込みを行う前に、書き込みテストを行うことをおすすめします。

注：バッファアンダーラン防止が有効である、または過去に現行の設定で書き込み実施したことがある場合は、書き込みテストを実行する必要はありません。

- ・ **ディスクを追記禁止で閉じる**：このオプションをオンにすると、そのディスクを書き込み禁止にします。現在の書き込みセッションを終えると、このディスクにデータを追加することはできません。これを指定しない場合は、マルチセッションディスクを作成できます。詳しくは、52 ページの「マルチセッション ディスク」を参照ください。
- ・ **レコードデータを検証**：このオプションをオンにすると、書き込まれたデータをソースデータと比較して、書き込みが正確に行われたか確認します。
- ・ **不具合管理を有効にする**：このオプションをオンにすると、CyberLink Power2Go でディスクの不具合検出と管理ができます。



第4章：

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- 72 ページの「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」
- 73 ページの「Web サポート」

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- ・ プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- ・ CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- ・ 登録した **アクティベーションキー** (アクティベーションキーは CD ケース、箱、または CyberLink ストアで Power2Go を購入した後で受け取った電子メールに明示されています。)
- ・ 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- ・ コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- ・ システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- ・ 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- ・ 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

注 : CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティーフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/CS/support/enu/support_index.jsp
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/CS/support/cht/support_index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/support_index.jsp
イタリア語	http://it.cyberlink.com/CS/support/ita/support_index.jsp
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/CS/support/deu/support_index.jsp
フランス語	http://fr.cyberlink.com/CS/support/fra/support_index.jsp
スペイン語	http://es.cyberlink.com/CS/support/esp/support_index.jsp

索引

C

CD

- マルチセッション 52
- 音楽の取り込み 49
- 起動用 59
- 書き込み禁止 69
- 書き込み後の確認 69
- 追記禁止 69

CD Extra、書き込み 43

CD TEXT 61

CD の書き込み禁止 69

CD 容量 55

CD-R/RW 容量のカスタマイズ 55

D

DVD 自動調整 65

DVD フォルダの書き込み 37

H

HighMAT 45

HighMAT CD、書き込み 45

M

Mixed Mode CD 43

Mixed Mode CD、書き込み 45

MP3 CD、書き込み 30

MP3 品質タブ 61

P

Power2Go Express 15

- ディスク コピーのアイコン 16

- データ ディスクのアイコン 15

- データディスクの書き込み 16

- ムービー ディスクのアイコン
15

- ムービー ディスクの書き込み
33

Power2Go サイドバー ガジェット
12

- ディスク コピーのアイコン 13

- データ ディスクのアイコン 12

- ムービー ディスクのアイコン
13

- 音楽ディスクのアイコン 13

- 書き込み 14

- 追加 13

Power2Go について 18

Power2Go の機能 2

Power2Go ボタン 21

Power2Go モード 20

- MP3 ディスクの書き込み 30

- WMA ディスクの書き込み 30

オーディオ CD ディスクの書き込み 30

ディスク コピー 39

データディスクの書き込み 23, 27

音楽ディスクの書き込み 30

起動用データディスクの書き込み 25

R

REC ボタン 16

U

UI ボタン 21

W

WMA CD、書き込み 30

WMA 品質タブ 62

あ

アルバム、曲の情報 56

い

インターネットプレファレンス 56

お

オーディオ 30

オーディオ CD タブ 60

オーディオ CD、書き込み 30

オーディオ ギャップ 61

オーディオトラック、ハードディスクに取り込む 49

オーディオの取り込み

手順 49

オーディオ変換 50

オートラン オプション 59

こ

コピー枚数 68

し

システム起動時にプログラムを起動する 18

システム要件 9

す

スキンの変更 18

スキン、変更 18

スライドショー

BGM の追加 36

作成 35

スライドショー エディタ 35

せ

セキュリティ ブラウザ 28

た

タイトル メニュー 36

ち

チャプタ メニュー 36

て

ディスク

コピー 39

名 67

ディスク イメージ

書き込み 41

保存 40

ディスク コピー

Power2Go Express のアイコン
16

Power2Go サイドバー ガ
ジェット 13

Power2Go モードアイコン 5
手順 39

ディスク メニュー

BGM の追加 36

ディスク ユーティリティ

オーディオの取り込み 49

ディスク イメージの書き込み
41

ディスク イメージの保存 40

ディスクの消去 48

ディスクアイコンの変更 60

ディスクタイプ

対応 8

ディスクの消去

手順 48

ディスク容量プレファレンス 55

データ ディスク

Power2Go Express のアイコン
15

Power2Go Express モードの書
き込み 16

Power2Go サイドバー ガ
ジェット 12

Power2Go モードアイコン 5

Power2Go モードでの書き込
み 23

Power2Go モードの書き込み
27

設定オプション 59

データディスクの 23

テスト、書き込み 68

は

バッファアンダーランエラー防止
を使用 68

バッファアンダーラン防止を有効
にする 68

ひ

ビデオ

対応フォーマット 8

ビデオディスク

Power2Go モードアイコン 5

ふ

ファイルシステム 60

プレイリストの自動作成 62

プレファレンス

一般 54

容量 55

フロッピーディスク、起動用 25

ほ

ボタン 21

ボリュームの正常化 61

ま

マルチ インスタンス 52

マルチ インスタンスの対応 52

マルチセッション ディスク 52, 69

む

ムービーディスク

書き込み 33

ムービーディスク

Power2Go Express モード 15

Power2Go サイドバー ガ

ジェット 13

も

モード

Power2Go 20

Power2Go Express 15

ろ

ログの表示 24, 26, 28, 32, 37, 38, 41,
42, 45, 47

一時ディレクトリ 54

一般プレファレンス 54

音楽

ハードディスクに取り込む 49

対応フォーマット 8

音楽ディスク

MP3、Power2Go モードでの書
き込み 30

Power2Go サイドバー ガ
ジェット 13

Power2Go モードアイコン 5
WMA、Power2Go モードでの書
き込み 30

オーディオ CD、Power2Go モー
ドでの書き込み 30

音楽ディスク、書き込み 43

画像

対応フォーマット 8

完全消去 48

起動用

CD、オブション 59

CD、書き込み 25

- イメージ ファイル 25
- フロッピーディスク 25
- 起動用ディスクの作成 59
- 曲 / アルバムの情報を読み込む 56
- 曲、アルバムの情報 56
- 言語プレファレンス 57
- 高速消去 48
- 最初の再生可能な動作 63, 65
- 最小システム要件 9
- 自動検出 55
- 写真
 - ディスクにバックアップ 63, 65
- 写真をディスクにバックアップ 63, 65
- 書き込み
 - CD Extra 43
 - HighMAT CD 45
 - Mixed Mode CD 45
 - MP3 ディスク 30
 - Power2Go Express モード 12
 - Power2Go サイドバー ガ
ジェットによる書き
込み 14
 - WMA ディスク 30
 - オーディオ CD 30
 - セキュリティで保護された
データ ディスク 26
 - ディスク イメージ 41
 - データディスク 23
 - マルチセッション ディスク 52
 - ムービー ディスク 33
 - 音楽ディスク 5, 30, 43
 - 起動用データディスク 25
 - 書き込みテスト 68
 - 速度 68
- 書き込みデータの確認オプション 69
- 書き込む前に
 - 書き込みテスト 68
- 常に手前に表示する 18
- 追記禁止 69
- 日時オプション 67
- 非表示 18
- 表示 18
- 不具合管理を有効にする 69
- 容量によりコンテンツを自動分割 60, 61

